

令和3年度第2回 野洲市都市経営審議会 結果報告

1. 開催日時等

日時：令和4年3月29日（火）14：00～15：30

場所：野洲市役所本館2階第5会議室

2. 委員等

<出席委員（6名）>	50音順
1号委員（学識経験者）	新川 達郎 委員（会長） 松田 有加 委員（副会長） 西川 照美 委員 中村 明博 委員
2号委員（関係団体を代表する者）	加賀爪 七夫 委員
3号委員（市長が認める者）	久保 朋子 委員
<欠席委員（1名）>	川戸 良幸 委員

3. 開会

市長挨拶

会長挨拶

4. 議事案件（◎会長、○委員、●行政）

・野洲市行財政改革推進プラン（案）に係るパブリックコメントの結果について

○保育園の民間参入については、市の施設の運営業務を委託するのか、それとも民間が経営する園ができるのか。委託なら市が主体のままだが、民間に主体が移ることに市民は不安を感じているのではないか。

●保育の担い手を増やす目的もあり、公立園は維持しながら新たな担い手として民間の保育所の参入を応援していく主旨である。全てを切り替えるのではなく併存させていく。公立園以外の選択肢ができ、利用されることで、民間園への理解が深まることも期待している。

○現在、市内には既に民間園があると思うが、人件費等のコストでどんな差があるのか把握しているか。

○民間保育園の参入については、効果額が入っていないが、民営化する方が市の負担が減る前提で記載されているのか。概算で良いので効果の規模感が知りたい。

また、いきなり100%でなく段階を踏んで民営化するとのことだが、給食の献立は市がやるが、調理と運搬は委託というのも経過の話だと思うが、その効果も知りたい。

●保育園の運営費については、園児1人当たり公立園で60万円、民間園で38万円の市負担となっている。施設整備費については公立園で1人当たり5.1万円、民間園で1.2万円の市負担と大きな差になっている。国は民間園を応援する方針であり、公立園に比べて厚めの支援があるため、市の負担は民間の方が小さくなる。

また、民間園の参入には時間がかかると考えている。湖南省では約10年の議論の末に民間への転換を実施されており、慎重に調査研究して方向を示していこうと考えているため、プランの5年間では効果を計上していない。

給食については、人件費の市の負担が軽くなる分として年間3,800万円の効果を見込んでいる。また、全部委託は現在のところ考えていない。

○民間園への措置費が今の説明の額になるのか。

●公立園は交付税措置されるが、民間園は補助金の形で交付される。民間園は公立園と比べて職員の年齢構成が低いことも人件費に差がある理由の一つである。なお、利用者の本人負担の基準はどちらも同じである。

○パブリックコメントで意見募集したことについては不満の意見もある。プランを決める前の段階から自治会等と事前に意見交換して、もう一段丁寧なやり方欲しい。自治体は地方自治が大前提であり、コミュニティの活性化の面でも重要なプロセスだと考えるので、丁寧に意見を集めても良かったのではないかと。オンライン等で意見を集めるやり方としては、前向きに、批判しない、提案型などのルールを決めてやった方が良い。

●事前に概要を示して、意見をいただいた上でプランを完成するというスケジュールで、ギリギリまで進めていたが、止む無くこのような形となった。財政状況は逼迫しており、1日も早く取り組みたいという葛藤から止む無くスタートさせたが、年度明けには説明会を予定しており、やり方はご提案を踏まえて検討したい。また、プランは3月で一旦完成させるが、策定した後も中身が詰まっていない部分や更に議論が必要な部分、更にはこれからいただく意見も踏まえて来年にも改訂し、反映していきたいと考えている。

○91の自治会は学区ごとに毎年行政懇談会をやっており、意見や要望を市に出しているが、なかなか応えてもらえない。小さな自治会では役員選出が難しくなっており、困り果てている。特に民生委員はなり手がいないが、市の援助はない。自治会の切なる要望はできるだけ受け止めて応えてもらいたい。お互いが前向きに努力していかないと、自治会の活動が維持できない。市も前向きに、共に歩む姿勢を示して欲しい。

●現状では、仰っていただいたような新たな課題やニーズに対処できる財源がない。既存事業に優先順位を付けて財源を振り分け、見直しをしていくことで、役割を終えた事業から新たな課題の解決へ財源を振り向けることができる。このような取組みにより、新たな課題に手を差し伸べられる行財政運営に転換していきたい。

○住民票等の証明書がコンビニで交付できるようになっても、相談等の役所の役割は必要である。コンパクトシティは理想であるが、行政の役割が全くなくなるのは住民の負担が大きく、何らかのカバーが必要ではないか。スクラップだけでなくビルドの部分も併せて提案があれば理解が得られるのではないかと。

●市民サービスセンターは北部合同庁舎の一角のみであり、全て閉館する訳ではない。建物は存続させるので、ICT等を活用して代わりになる機能を置くことができないか検討していきたい。

・野洲市行財政改革推進プランについて

○前文の書きぶりが、経営改善方針やアクションプランでは丁寧だったが、率直な表現に変わったように感じる。また、これまでの経過には年度を入れた方が流れが分かりやすいと感じた。また、サービスを今までどおり同じ内容で維持することは難しいが、形は変えても水準は落とさないように心がけるといことは入れた方が良い。

施設の統廃合については、民間のバスも減便されると明らかにサービスが劣化してしまうので、施設を残すより公共交通の方が安く済むなら、そういった代替サービスの確保を入れることも必要ではないか。

高齢者が市民活動に参加することで健康を保つことができ、医療や介護の支出が削減できれば、トータルで支出を抑えることができるという見方もできるのではないか。

人件費については、時間外手当だけでなく作業効率化にも取り組んではどうか。公務員は前任者の仕事をそのまま同じようにやりがちだが、何故その仕事をやっているのかの根本を考えて、必要性のないものや統合しても問題のないものを洗い出し、水準を落とさずに上手く楽をすることで通常業務も削減していく必要がある。

○業務改善をやろうとすれば、通常業務に加えて負担がかかることになるが、市に取り組む心づもりがどこまであるのか。なんとなく始めてもきっとできない。とりあえずツールだけを導入しても使いこなせない事例を多く見てきている。プロジェクトチームを作り、主導的な立場を明確にして真剣に取り組まないと形にならない。

●前文の書きぶりは、切迫感を伝えるために敢えて生々しい表現にしている。文中に年代を入れて時系列で把握しやすくする等、伝わりやすさを意識して見直したい。

施設統廃合が実現した後のケアについては、どういったことが書けるか検討したい。

人件費削減が時間外手当のみとなっているのは、効果額として算出しやすいためである。通常業務の中でも、例えばマニュアルの作成によりサービスの質を維持しつつ効率化を図る等、業務の改善も図っていききたい。

●サービス水準は当然維持すべきと考えており、それを踏まえたプランとしている。説明の際には、その辺りにも触れていきたい。

施設の統廃合については、利用率を踏まえて、活動の場がなくなることがないように配慮して進めている。

業務改善に本気で取り組むとなれば、定員管理等にも影響が出てくるため、プランでは時間外のみ記載に留めている。目標管理として常に業務改善に努めているので、人事評価の中で人事課がリーダーシップを取ってやってもらいたいと考えている。

・会長総括

◎市民に理解してもらいやすいプランになるよう精査してもらいたい。

- ◎サービスのあり方を変えていくにあたっては、見通しが示されなければ丁寧に説明しても、市民に納得して協力してもらえない。また、使ってもらうことに意味があるということを踏まえて議論してもらいたい。
- ◎本来の行財政改革であれば、特別職や一般職の人員費カットは一丁目一番地のはずだが、このプランではその辺りは限定的な扱いとなっている。そこはそれぞれの考え方があるが、業務プロセスの見直しと関連させて、働きやすさを踏まえた効率化を図ってもらいたい。ワークライフバランスに配慮して、時にはワーケーションを組み込む等、業務の効率が上がるような工夫をしてもらいたい。
- ◎AIやICTの活用は国を挙げて進められており、DXは当たり前となっている。現場ではそのような動きを捉えて、市民サービスの向上に繋げていただく等、様々な場面でのデジタル化を検討してもらいたい。
- 計画は作ったもののほったらかしというのが一番まずい。このプランは実現可能なプランだと感じており、野洲市の財政を鑑みれば、着実に実行していくことが最も大事だと考えている。

5. 閉会

副市長挨拶